

さんネット通信

第2号

2018 秋冬

平成30年11月14日(水)13時よりサンライズ九十九里多目的ホールにおいて、山武圏域自立支援協議会 山武圏域福祉関係機関等研修会が行われました。本研修は、「山武で生きる」シリーズとして、第4回を迎えます。今年度の研修は、障害児者、高齢者が、地域生活支援を行う上で出てくる課題について問題提起を行い、地域でできる具体的な取り組みを考える機会とし、山武圏域における地域包括的な支援体制、及び福祉関係者の人材育成とネットワークづくりを目的に開催いたしました。



第1部では、「介護保険・障害福祉サービスの共生型サービス」について説明が千葉県障害福祉事業課事業支援班班長井上亨氏のご説明がありました。

第2部では当事者三名にご登壇いただき障害福祉サービスから介護サービスへの切り替えでの不安や現在の暮らしぶりについてお話を伺いました。特別養護老人ホームゆりの木苑平賀弘美氏「誰もが輝く地域社会」ケアプランセンターあいの手小林幸夫氏「介護保険への移行時における事業所の課題」についてご講義頂きました。

第3部は、多業種福祉関係機関がグループごとに分かれ、シンポジウム等の感想やそれぞれの現場の抱える課題や意見を出し合いました。高齢期を迎えるときに A-地域で暮らし続けるためにできること。B-分野・機関・制度の連携において取り組めること。の2つのテーマから選択し私たちができることは何なのか意見を出し、建設的なアイデアを一緒に考えました。

グループワークの後には各グループより、出し合った意見を発表し、今後、福祉専門職として取り組むべき個別・地域の課題を共有し、まさに「制度を使い勝手良く活用する」ことを共有しました。

連絡調整会議各部会の今後の予定

高齢者部会研修会

日時：2019年1月 午後予定

場所：山武圏域市内

内容：第2回医薬と福祉がつながる座談会

医薬と福祉に関わる多種職の顔の見える関係づくり、昨年は一歩近づいた関係づくりと開催を開催してきました。今年はより具体的な関係づくりとして高齢者の課題を研修できる場の提供を予定しています。詳細は後日、郵送等でご連絡いたします。

児童部会

(子育てミニ集会)

日時：2018年11月26日(月)

18時~20時

場所：さんネット(山武市富田ト748)

内容：「子供が犯罪に巻き込まれないために」

私たち・地域は、子どもたちの健やかな育ちを保障するため、どのようなことができるか、一緒に考えてみませんか。教育・福祉・行政他活動に興味のある方なら誰でも参加可能です。

各部会活動内容

児童部会 「教育と保健福祉がつながる座談会」

日時：平成30年8月29日（水）10時～12時

場所：山武健康福祉センター 3階

内容：1. 講演会「子どもたちが犯罪に巻き込まれないために」

講師：外房地区少年センター 上席補導指導員 天間 多美氏

山武市山武西小学校 校長 戸村 恒夫氏

グループワーク：子どもが犯罪に巻き込まれないためにできることを考えよう

子どもたちは、成長する過程の中で様々な出来事に遭遇し、様々な人と出会い、成長していきます。子どもたちが犯罪に巻き込まれないために、子ども自身はどうしたらよいか、大人や支援者はどうしたらよいか、私たちができることをそれぞれの立場でお話いただきました。お二人の講師の講義の中では、昨今のSNSやネット犯罪により子どもたちが事件・事故に巻き込まれている傾向にあるとのことで、それを受けグループワークでも、子どもを支援する専門職だけではなく、様々な関係機関と連携を図りながら、具体的な支援策・解決策を考える仕組みができることを期待した形となりました。

高齢者部会 第一回医療と福祉がつながる座談会開催ご報告

日時：平成30年10月10日（水）19:00～21:00

場所：城西国際大学 M棟1階会議室

内容：1. 講話：人の「生活」と「終末期」を考える

①がん患者さんの体験談②患者の心と身体とターミナル

講師：NPO法人支え合う会「α」 副理事長 野田真由美さん

2. みんなでグループワーク：「ターミナルケア」「がん」と聞いて連想すること

講師の野田さんからがんを患う家族の介護実体験をもとに、患者さん本人が病気に向かう考え方や受けとめる家族の心の動き、看護師、医師、介護者、薬剤師のかかわり、言葉かけの難しさなど勉強しました。グループワークでは、多職種が集まり話に広がりが見えました。今後も高齢者分野だけでなく、枠を超えて多職種が集まり交流していく研修を提案していきます。

次回も多分野でご活躍の皆様の参加をおまちしています。

困難事例検討会～みんなで考えれば何か見つかるかも～の報告

日時：平成30年9月21日（金）
15時～17時

場所：山武健康福祉センター

講師：あまね法律事務所

弁護士 遠藤直也氏

内容：PCAGIP法による事例検討

～無国籍・無戸籍の外国人支援～

*相談支援の中で他領域多分野の支援や役割がわかりにくいこともあり、互いを知る良い機会として企画しました。支援の中でも「困難」とされる事例は、支援者側の知識や関係機関等との連携に、その後の支援が大きく左右されます。今後も、皆様が直面している「困難事例」を一緒に検討することができれば良いと思います。

PCAGIP法を活用した検討



RUN 伴でつながる 新しい地域づくり

2018年9月8日・9日と、
RUN 伴2018ちばが、県内各地で開催
されました。

山武圏域では、山武市・東金市がそれぞ
れ実行委員を中心に、地域のつながりをい
かしたイベントを開催しました。

RUN 伴2018東金の報告

「東金でも RUN 伴を開催しませんか？」東金商工
会議所福祉のまち推進委員会よりお声かけいただき、実行
委員会が立ち上がりました。「RUN 伴って何？」そこか
らの始まりでしたが、東金市内の医療機関、福祉事業所
や商工会議所青年部のご協力、東金市また東金市社会福
祉協議会のご後援、多くの企業からご賛同いただき、本
年のテーマ「町をオレンジ色に染める」を目指し実施す
ることができました。

同じく初めての開催となった山武市と協力し、城西国際
大学のご支援の元、2市同時スタートを行い、襷を繋ぎ
ながらゴールの東金商工会議所を目指しました。スタッ
フやボランティア、またランナーとして総勢120名で
開催することができましたが、車椅子で参加された方や
小さな子供たちの爽やかな笑顔と歓声がとても印象的
でした。また、市内を代表する可愛い5体のゆるキャラた
ちも伴に走り、東金らしい RUN 伴になりました。

今年の RUN 伴開催においては、東金市内をオレンジ
色に染めることはまだまだできていないと思いますが、小
さな点は残せたと感じます。今後、その小さな点を多く
つないでいくことが必要です。今回初めての開催にあ
たり、ご協力またご参加いただきました全ての皆様に感謝
申し上げます。

RUN 伴2018東金 実行委員長 石原智志（文責）



ゆるキャラも応援！



9月9日のグランドフィナーレ（イオンモ
ール幕張新都心）に、県内各地の実行委員が集
合！！



城西国際大学から、東金市・山武
市。いよいよスタートです！！

RUN 伴2018山武の報告

「認知症になっても安心して暮らせる地域を作るはじめての一步」
この目標を掲げ、実行委員一丸となって取り組みました。

ご後援いただいた山武市・山武市社会福祉協議会・城西国際大学を
始め、多くの団体等にご協賛・ご協力をいただき、認知症の症状を持
つ方を含む10チームが、城西国際大学から山武市成東運動公園まで、
一つの襷を繋ぎ、無事に完走いたしました。この取り組みが、地域福
祉の一躍を担うものとなることを期待しています。

RUN 伴2018さんむ 実行委員長 鳥海智敬（文責）

RUN 伴（ランとも）は、認知症の人や家族、支援者、一般の人がリレーをしながら、一つのタスキ
をつなぎゴールを目指すイベントです。

RUN 伴をきっかけに、認知症の人が地域の人と出会う一歩につながったり、これまで関心のなかつ
た人が何かを気づくきっかけになったり、その出会いから近所での顔見知りの関係ができて安心して外
出できるような、まちの在り方が変化していくことをゴールにしています。

これからの催事ご紹介

変わりゆく障害者福祉政策の中で「グループホームに求められているものは何か？グループホームの在り方とは？」を皆さんと共に考える大会です。たくさんの皆さんの参加お待ちしております。

第10回千葉県障害者グループホーム大会 グループホームの原点と未来 ～繋がる絆（たすき）～

日程：平成30年12月1日（土）

時間：10時～15時30分

場所：千葉県教育会館（千葉市中央区中央4丁目13-10）

内容：基調講演「施設と地域のあいだで考えた
～グループホームの可能性を視野に～」

講師：社会福祉法人高水福祉会 参与 福岡 寿氏

分科会①地域の中のグループホーム

分科会②入居者トークセッション

分科会③家族のしゃべり場

分科会④入居者・入居希望者交流会

定員：450名 参加費：無料

問合せ先：千葉県健康福祉部健康福祉事業課事業支援班

FAX：043-222-4133 電話：043-223-2308

2018年度山武が繋がる 相談支援ネットワーク交流・研修会

日程：2018年11月28日（水）

時間：10:00～16:40

場所：山武健康福祉センター3階大会議室

内容：午前10時～12時 第1部

「地域共生社会を本気で考える」

講師：順天堂大学先任准教授

松山 毅氏

午後1時～午後3時 第2部

「私の知らない相談機関～多分野の相談機関を学び合おう」

午後4時～午後4時40分 第3部

「相談機関同士がつながるためのディスカッション」

対象者：山武圏域及び周辺区域内の相談支援機関及び行政機関、本テーマに興味をお持ちの方。

定員：100名 参加費：無料

問合せ先：事務局さんネット 吉井・赤堀
0475-77-7531



中核地域生活支援センター【千葉県委託事業】

さんネット

〒289-1321 千葉県山武市富田ト748

電話 0475-77-7531

FAX 0475-77-7538

E-mail sun.net@npo-link.jp

ホームページ <https://npo-link.jp/>

